2010 年 3 月 5 日

オルガンの生演奏でチャップリンのサイレント映画を楽しめる

「ローランド・ライブ・イン・シネマ・コンプレックス」を開催！

ワーナー・マイカル・シネマズ 加古川／高の原

㈱ワーナー・マイカル

㈱ワーナー・マイカルは、チャップリンのサイレント映画を華麗なオルガン生演奏とともに上映する「ローランド・ライブ・イン・シネマ・コンプレックス」を、4 月 4 日（日）に兵庫県のワーナー・マイカル・シネマズ加古川、4 月 11 日（日）に京都府のワーナー・マイカル・シネマズ高の原で開催します。

このコンサートは、身近なシネコンで気軽にライブ演奏を楽しんでいただきたいというローランド㈱と、新しい劇場の使い方を模索する㈱ワーナー・マイカルとのコラボレーションにより実現しました。劇場内にはローランドの音場支援技術により、コンサート・ホール同様の音響空間を構築し、映画館でライブ演奏という新しいエンターテインメントをご提供します。劇場内で演奏され、大型スクリーンに奏者の手元や表情が映し出される、目と耳で楽しめるこのライブ・コンサートは、昨年 10 月、11 月に横浜・大阪で開催し、合計 2,000 名以上のお客様にご来場いただき好評を博しました。

今回開催する「ローランド・ライブ・イン・シネマ・コンプレックス」では、チャーリー・チャップリンのサイレント映画の名作『チャップリンの勇敢』*を上映。最新のローランド・オルガン「ミュージック・アトリエ」の生演奏と一緒にサイレント映画を楽しんでいただこうという当社にとっては初の試みです。サイレント映画時代に米国で主流だったシアター・オルガンのサウンドやストーリーを引き立たせる効果音などを、「ミュージック・アトリエ」の表現力豊かな音色で生き生きと演出。永遠の名作が迫力ある美しい音色とともに甦ります。

なお、同じプログラムの枠内で、映画テーマ曲の演奏や、ローランドのクラシック・オルガン「C-330」による、J・S・バッハの名曲の演奏もお楽しみいただけるほか、ジャズ・オルガン・ライブ(加古川会場のみ)や、お子さまによるピアノ/オルガンの演奏会（高の原会場のみ）も開催します。

*『チャップリンの勇敢』(本題 “EASY STREET”) は、1917 年のモノクロ、サイレント作品。上映時間は約 20 分

記

開催日	4 月 4 日（日）	4 月 11 日（日）
会 場	ワーナー・マイカル・シネマズ 加古川 兵庫県加古川市平岡町新在家 615-1 加古川サティ内 TEL：079-420-5501（自動音声ダイヤル）	ワーナー・マイカル・シネマズ 高の原 京都府木津川市相楽台 1-1-1 イオン高の原ショッピングセンター 4F TEL：0774-71-9545（自動音声ダイヤル）
① 11:30 開場 12:00 開演	「田代 ユリのクール・ライブ～ オシャレな曲を ジャズ・アレンジで、トークとともに ～」 出演：田代 ユリ（オルガン）、山本 直樹（V ドラム） 入場料金：大人 2,400 円／小中学生以下 1,200 円（税込/全席指定）	「家族で楽しむコンサート ～ 電子ピアノ・電子オルガンの生演奏 ～」 出演：音楽教室生徒・講師、山口 綾規(ゲスト演奏) 入場料金：一律 500 円（税込/全席指定）
② 〈加古川〉 14:30 開場 15:00 開演 〈高の原〉 15:00 開場 15:30 開演	「映画館で観る カジュアル・ライブ」 ◆チャップリンの無声映画をオルガン演奏とともに （作品：『チャップリンの勇敢』） ◆映画音楽をオルガンで演奏 （演奏予定曲：ハリー・ポッター、ジュラシック・パーク、エデンの東、ディズニー映画テーマ曲、追憶、ゴッド・ファーザーPart Ⅱ、オペラ座の怪人、他） ◆バッハの名曲を電子パイプ・オルガンで演奏 （演奏予定曲：J・S・バッハ作曲『トッカータとフーガ ニ短調 （BVW565）』、『主よ、人の望みの喜びよ』、他 出演： 山口 綾規、熊埜御堂 可奈子 入場料金： 大人 1,800 円 ／ 小中学生以下 900 円（税込・全席指定）	

■ チケット販売方法： 加古川は 3/31(水)、高の原は 4/7(水)、それぞれ 21：00 より劇場窓口、ホームページでお求めいただけます。

・ホームページ （開演の1時間前まで販売）
＜パソコン＞ http://www.warnermycal.com ＜ケータイ＞ http://www.warnermycal.com/i/

＜資 料＞

■チャールズ・チャップリン（Charles Chaplin: 1889 – 1977）

イギリス・ロンドン生まれ。映画俳優、映画監督、コメディアン、脚本家、映画プロデューサー。映画の黎明期に数々の作品を生み出し、『喜劇王』の異名を持つ。25 歳のとき、最初の映画出演を果たし、この年だけで 30 本以上の作品に出演した。ほとんどが 1 巻もののコメディで、早くも後のトレードマークとなるだぶだぶズボンにドタ靴、山高帽、チョビ髭、そしてステッキという姿で登場して人気者となる。『街の灯』『モダン・タイムス』『チャップリンの独裁者』など、映画史に輝く傑作を残している。

演奏者について

■田代 ユリ （たしろ ゆり）

スタジオミュージシャンおよびソリストとしての広範囲な活動に加え、イベント音楽や番組テーマ曲の作曲など様々な音楽シーンで活躍。ジャズ・オルガンのトップ・プレイヤーとして一時代を築いた。リリースしたアルバムは 60 余枚。講演やセミナーでは、飾らない人柄と分かりやすいトークが好評で、コンクール審査、音楽誌連載、後輩の指導にも当たっている。ウィンドアンサンブルシリーズ・ピアノ曲集・オルガン曲集など多数出版。

■山口 綾規（やまぐち りょうき）

電子オルガンを橘ゆり、野田正純の各氏に、パイプ・オルガンを田中由美子、ブライアン・アシュレー、廣野嗣雄の各氏に師事。早稲田大学政治経済学部卒業後、東京芸術大学音楽学部別科オルガン専修を経て、同大学院修士課程を修了。パイプ・オルガンから電子オルガンに至るまで、ジャンルを問わず幅広いレパートリーを持ち、国内外で積極的に演奏活動を行っている。また後進の育成や、セミナー、出版物も多く手がけている。

■熊埜御堂 可奈子（くまのみどう かなこ）

4 歳より電子オルガンを始める。東京コンセルヴァトアール尚美（現、東京ミュージックアンドメディアアーツ尚美）器楽科卒業。数々の電子オルガン・コンクールで優勝。ローランド・オルガン＜ミュージック・アトリエ＞デビュー時より、日本全国はもとより海外でも演奏活動を行っている。指導者、作曲家としても幅広い方面で活躍中。

※本ニュースリリースに記載されている社名、製品名などの固有名詞は、各社の登録商標または商標です。